The sky is the limit
～可能性は無限大～

好きなゲームは
『ダークソウル』

Anna（アンナ）
- Anna Gutierrez
- ケンタッキー大学で日本研究を専攻
- 日本のマンガが大好き

好きなマンガは
『鋼の錬金術師』

Jackie（ジャッキー）
- Jacqulyn Wilder
- ケンタッキー大学で日本語を専攻
- 日本語教師を目指して勉強中
- ゲームが大好き

近年の国際交流は、語学力向上や異文化理解にとどまらず、挑戦する力やコミュニケーション能力を伸ばす機会として注目され、海外留学やホームステイに挑戦する高校生の数も増加傾向にあります。

新ひだか町姉妹都市交流委員会では、ここ数年コロナ禍で制限されていたアメリカ合衆国レキシントン市との交流事業を約4年振りに再開し、7月16日にはケンタッキー大学からアンナとジャッキーの2人が来町。静内高校で4週間のインターンシップを行いました。

また、今年度からの新規事業『ケンタッキー大学語学学校短期語学留学プログラム』には、町内の高校に通う生徒2人が記念すべき第1期生として7月22日にレキシントン市へ旅立ちました。

ほかにも、「自分の好きなものについてもっと学びたい」、「夢へ一歩近づこう」と海外へ飛び出す生徒や、海外の学校とのオンライン交流などが増え、高校生を中心に、新ひだか町の国際交流も活発になってきています。

Anna's Answers

柔道体験

①はじめは友だちと一緒に日本のアニメを見て面白いと思いました。その後、日本の昔話も見るようになり、さらに興味を持つようになりました。日本の昔話は子どもたちに道徳や文化を教えるための大切なものだと思っています。

②慣用句やことわざは、短い言葉の中にストーリーがあって、昔話のようで面白いです。もっとたくさんのことわざを知りたいです。

③新ひだかの人たちはみんな私に話しかけてくれて、とても優しいので、私は幸せです。

Jackie's Answers

馬の餌やり体験

①子どものころ、近くに住んでいた日本人の友だちと話せるようになりたくて、日本語を少し勉強していました。友だちが日本に引っ越してしまった後は、一度、勉強をやめてしまいましたが、18歳のときにレキシントン市の日本食レストランで働いたことがきっかけで興味を持つようになり、大学の専攻を変えて現在は日本語を勉強しています。

②みんな外国人にも親切で、会話をしながら正しい日本語を教えてくれます。アメリカでは、言葉が話せない外国人をバカにする人もいるので、根気強く話してくれる日本人の対応に驚きました。

③新ひだかは温かい町です。特に静内高校の先生や生徒は、毎日あいさつをしたり、優しく話してくれたりして、みんなの一員になったような気持ちになりました。

Anna と Jackie にインタビュー
Questions

①日本に興味を持ったきっかけは何ですか？

②日本の文化で面白いと思ったこと・驚いたことは？

③新ひだか町の人と触れ合ってどう感じましたか？

＼ホストファミリーからひとこと／

Jackie's Host family　中山さんご家族 －静内旭町－

（左から）母:敏江さん、長女：渚さん、ジャッキーさん、次女:夏凪さん

ホストファミリー募集を知り、英語やホームステイなどに興味のあった子どもたちが「やりたい」と強く希望したこともあり、ホームステイ先として応募しました。

はじめは少し緊張しましたが、ジャッキーは人懐っこく、日本語も上手なので、家族全員すぐに打ち解けることができました。

ジャッキーは本当に真面目で、分からないことをメモするなど、毎日努力しています。私たちも日本語の意味や使い方などを彼女に分かりやすく伝えるため、簡単な英語や彼女が知っている日本語、スマートフォンなどを使用するなど工夫しています。子どもたちはネイティブな英語を聞いたり、文化や価値観の違いに触れ、とても刺激を受けていますし、ジャッキーが来てから家族が一緒にいる時間や会話など、コミュニケーションも増えた気がします。

ジャッキーがいる間、日本語や日本文化を学べるように、私たち家族も楽しみながらを応援したいと思います。

サクランボ狩りへおでかけ

Anna's Host family　浦東さんご家族 －静内青柳町－

（左から）父:朝和さん、アンナさん、長女:咲妃さん、母:美絵さん

これまでにもアメリカの高校生を受け入れた経験もあり、また「長女の将来への夢を叶えるため全面協力したい」との思いから、ホームステイ先として応募しました。

アンナが来てくれて、より家族に笑顔が増え、毎日が楽しくて”あっと言う間”に感じます。

自宅のカレンダーには、アンナのスケジュールがびっしりと書いてあり、娘が一人増えたような感覚です。長女も姉のように慕っており、アンナも長女とは英語で話せるのでリフレッシュできるようです。

アンナと私（母：美絵）は、日本昔ばなしがお互いに好きで「鶴の恩返し」や「河童の雨ごい」などの話をして楽しんでいます。またアンナは、日本食にも興味や関心が高く、その中でも梅干しが大好きで、冷蔵庫の中は、いろいろな種類の梅干しでいっぱいです。

「日本の文化を学びたい」という思いに応えられるよう家族全員で協力しています。

夕飯は必ず全員で食事を取るように心掛けています。

白い恋人パークへおでかけ

馬が好きでアメリカから静内農業高校へ留学

Misaki Imai

（今井 未咲さん）

馬が大好きで静内農業高校へ留学。6月26日から7月9日の2週間ホームステイをしながら静内農業高校へ通いました。

＼生まれも育ちもアメリカ！普段はアメリカ ボストン市の高校に通っています／

留学のきっかけは？

日本の文化と馬についてもっと学びたいと思い、静内農業高校への留学を決めました。私は7歳のときに、祖母と母から乗馬を教えてもらいました。はじめのうちは1週間の乗馬のサマーキャンプなどに参加していましたが、今では週に4日、夏にはもっとたくさん乗馬を楽しんでいます。

日本とアメリカの文化の違いで驚いたことは？

アメリカの学校では生徒が先生にあいさつするよう強制されることはありませんが、静内農業高校では、生徒が先生やクラブの指導者にあいさつやお辞儀をしていました。

また、アメリカの公立高校は学区が決められているので自分が住んでいる地域の学校に通いますが、静内農業高校は日本全国から生徒が集まっていて興味深かったです。

留学の感想

静内農業高校は、生徒が好きなことを追求できる特別な学校だと思います。

馬術クラブでは、トップライダーを目指す生徒やホースセラピーを学びに来ている生徒など、さまざまな生徒が仲良く切磋琢磨している姿が印象的で、非常に多くの生徒が馬に関すること興味を持って活動している姿を見るのは、とても刺激的でした。

＼未咲さんのホストファミリー／

（左から）母:久乃さん、未咲さん、長女:めいさん、父:裕一郎さん

家ではアメリカのことや学校でのできごとなどを話しながら楽しく過ごしました。好き嫌いはほとんどなく、煮物や納豆などの和食も家族と一緒に食べ、家族の一員としてすっかりなじんで生活していました。

語学だけじゃない！馬や農業など「好きなこと」が国際交流の入口に

世界中の高校生と交流

静内農業高校では、海外の高校とのオンライン交流や、留学生の受け入れ・派遣プログラムに参加し、生徒の語学力や積極性・コミュニケーション能力などを育んでいます。

特に、海外の農業高校との交流や馬をきっかけとした留学は、静内農業高校だからこそできる取り組みでもあります。

日仏農業教育連携事業

フランスの農業高校と、お互いに農業を学ぶ生徒同士として交流をしています。

オンラインでビデオメッセージを交換するほか、令和4年には2人のフランス人留学生を受け入れ、令和5年には「フランス研修」として、3人の生徒がフランスを訪問しました。

＼フランスのシバンス農業高校で大歓迎されました／

ラフィエット高校とのオンライン交流

令和3年の秋から、姉妹都市のレキシントン市にあるラフィエット高校で日本語の授業を選択している約160人の生徒と、ビデオメッセージの交換や、年賀状の作成、お互いの国や町を紹介するコラージュポスターの作成・交換を通じて交流しています。

＼ラフィエット高校へ送ったコラージュポスター／

ジェームス・ルース農業高校とのオンライン交流

令和4年から、オーストラリアのジェームス・ルース農業高校で日本語クラスを選択している生徒と、オンライン交流を行っています。

＼1月15日～1月23日／

ハワイでホームステイ留学

浦東 咲妃（さき）さん（静内高校3年生）

中学2年生のときにレキシントン市訪問団としてアメリカに行った際、フライトアテンダントの細やかな気づかいに感動し、自分も目指すようになりました。少しでも夢に近づけるようにと参加したハワイのホームステイ留学では、文化の違いや活発に活動する現地の生徒などを見て視野が広がりました。進学先では長期留学にも挑戦してみたいです。

＼2月7日～2月11日 フランス研修／
＼7月22日～8月14日 語学留学／

フランス研修と短期語学留学に参加

小寺 祐太（ゆうた）さん（静内農業高校3年生）

今年の2月に参加したフランス研修では現地の農業高校などとの交流・ワイナリー視察を通して、農業に対する意識の違いやフランスの農業の仕組みについて深く学ぶことができました。7月22日からのレキシントン市での短期語学留学では、自分たちで家事や買い出しも行うなど生活感あふれる滞在となるため、アメリカの生活や文化に触れながら、異文化コミュニケーションの能力を高めたいです。

新ひだかの高校から世界へ

新ひだか町からも、自分の「夢」や「好き」を原動力に
世界へ挑戦している高校生がたくさんいます

＼7月16日～8月1日／

高校生外交官としてアメリカへ

木部 千乃（ゆきの）さん（静内農業高校2年生）

ＡＩＧ高校生外交官渡米プログラムに参加し、アメリカの高校生外交官との交流を行います。国際交流にもさまざまな分野がありますが、私は農業高校で学んでいる強みを生かし、国際食糧安全保障、馬産業や馬文化について見聞を深めたいです。将来の目標は馬専門の獣医になることです。海外で学んだことを積極的に校内でも共有し、世界に飛び出していく仲間をもっと増やしていきたいです。

＼7月22日～8月14日／

短期語学留学で初めての海外に挑戦

廣島 彩奈（あやな）さん（静内高校3年生）

私は、世界の文化や言語に興味があり、関連するドキュメンタリー番組などたくさん見てきました。高校では、海外とのつながりを感じられる英語を学ぶことが特に楽しく、英検などを通して話せる英語を身に付けてきましたが、今度は海外留学で本場の英語に触れ、さらにレベルアップしたいと思っています。また、現地でさまざまな文化に触れることで広い視野を養い、将来は海外でも日本でも活躍できる人材になれるよう努力していきたいです。

世界を目指して頑張る生徒を応援！

各学校での取り組みのほか、新ひだか町では姉妹都市交流事業や英語検定料助成事業を通じて、世界で活躍できる人材の育成をサポートしています。

●アメリカレキシントン市への訪問団派遣

町内の中・高校生が、レキシントン市でホームステイしながら学校などを訪問し、文化の違いなどを学びます。

旅費の一部を町で助成しています。

●ケンタッキー大学語学学校短期語学留学

町内の高等学校に通う生徒が、大学キャンパス内のアパートで共同生活を送りながら3週間語学学校へ通うことで、本格的にアメリカ文化と英語を学びます。

旅費や滞在費の一部は町や静内ロータリークラブが助成しています。

●英語検定料助成事業

町内の小学校・中学校・高等学校に在籍する児童生徒などが英語検定を受験した際の受験料を助成しています。

対象の級や申請方法などの詳細は、町公式ホームページからご確認ください。